

市の鳥「やまどり」

平成 25 年度

子ども会 いせはら



市の花「ききょう」

発行：伊勢原市子ども会
育成会連絡協議会

編集：広報部会

発行日：2013 年 10 月

<http://www9.atpages.jp/sikoren/>

子ども会の本来の力 ～ 今、必要な地域のつながり～

緑台地区子連

北高森子ども会『今、大切なこと』

東日本大震災以降、地域のつながりの重要性が再認識されています。

北高森地区では、自治会・北栄会（青年会）・長寿会・消防団・子ども会が一体となって、例大祭・盆踊り大会・地区体力づくり等、全ての行事を運営しています。

行事の度に地区の方々が集まるため、顔見知りが増え、地域のつながりが生まれます。このつながりが強く太くなり、絆へととなっていくのではないのでしょうか。

地域の絆を育てていくのは、一人一人の結びつきから始まるものだと思います。そのために地域の行事に参加していくことが、第一歩ではないのでしょうか。



(文：緑台地区子連 沼倉 美香)

桜台地区子連

千津南子ども会『震災を経験して』

東日本大震災の時、出張中の私が息子の居場所を確認できたのは午後7時、ご近所さん達の探索のおかげでした。

当時の千津南の子ども会加入率は19%と桜台地区で最も低い状況でした。しかし「共働きやひとり親家庭の子どもを孤立させてはいけない」という子ども会と、「子育てに地域も協力する」という自治会の思いが一致し、予算の全額を自治会が負担することで全員加入が実現しました。

活動には親の負担があるものの、親自身も成長し子ども達に社会性を身に付けさせるのに役立つという意見もあります。現在の課題は、「役員決め」と「子どもにどのような役割を持たせるか」です。この課題に対する解決案を、現役員を中心に模索していきたいです。

(文：桜台地区 千津南子ども会 芦側 小百合)



大田地区子連

『インリーダー研修会』

毎年6月に5・6年生のリーダー性を高めることを目的としたインリーダー研修会を行っています。

今年度は子ども科学館の先生方のご協力の下「サイエンスショー」と「冷却パックヒヤロン作り」を行い、参加した子ども達は皆楽しい時間を過ごしました。

研修会を通し、インリーダーたちは下の学年の子の手助けをしたり、班をまとめたりと、リーダーとしての意識が芽生えました。

(文：大田地区子連 今村 真歩)



石田地区子連

リバティつばさ子ども会『リバティ夏祭り』

リバティつばさ子ども会では、自治会のリバティ夏祭りにバザーやゲームで参加しています。ゲームの内容は子どもたちが企画して、事前の準備や当日の運営も高学年の子どもたちが行っています。

今年は、ストラックアウトのボードを利用した射的とバスケットボールゲームを企画し、得点方法や景品をどうするかなどを話し合いました。バザーも暑い中、提供品の回収にまわり、値付け、品出しと大忙しでしたが、力をあわせて頑張りました。

(文：石田地区 リバティつばさ子ども会 岡村 牧葉)



イン・ジュニアリーダー合同研修キャンプ

8月17日(土)・18日(日)日向ふれあい学習センター

(文：成瀬地区 岡崎 由理香)

お天気にも恵まれた8月17日・18日、5回の研修を重ねてこの日に臨んだジュニアリーダー指揮の下、子ども会の小学5・6年生(インリーダー)を対象としたイン・ジュニアリーダー合同研修キャンプが行われました。

ゲームやウォークラリーで班のメンバーと仲良くなった後、野外炊事では薪を使った火加減に苦戦しながらも美味しいカレーを作りました(サプライズ企画として、市子連役員が準備した流しそうめんも行いました)。夜のキャンプファイヤーでは大きな炎にびっくりしつつ、楽しいゲームで大はしゃぎ!大興奮の1日目が終わりました。

2日目はキャンプの振り返りをし、初対面の友達ともキャンプを通じて仲が深まったことなどを確認しました。ジュニアリーダーになりたての中学生も堂々とした司会進行・挨拶をし、立派なリーダーとして話す姿に成長を感じた2日間でした。

参加したジュニアから、今後の活動に対して「絶対子どもたちを楽しませる自信がある」との嬉しい声もありました。

研修を重ねて挑んだ今回のキャンプ。ジュニアリーダーも見守ることの難しさ、ふれあうことの大切さを学び、大変すばらしい経験となったことでしょう。これからの更なる成長が楽しみです。

KYT 研修



どこがあぶないかな?
うーん 包丁かな??



事前研修
野外炊事研修では
ひもを使った火起こしを
体験!



事前研修
ジュニアリーダーのみなさん!
当日の準備は大丈夫かな?



カレー作り
班ごとに協力して
作った カレーライス
おいしかったあ~❤



キャンプファイヤー
みんなで、おどって、歌って
盛り上がったよ~!



記念品は
木のコースター♪
夢中でつくってます!!



朝の集い
目を覚まそう~♪
みんなで、手遊びや
ゲームをして
楽しかったよ~!



野外炊事&ゲーム研修講師は…
山崎聡さん!
(現：伊勢原中学校校務整備員)

☆お二人に研修全体をサポート
していただきました! ☆
細屋 正博さん
(伊勢原ジュニアリーダーズクラブ 相談役)
森 郁美さん
(成瀬ジュニアリーダーズクラブ・シニアリーダー)

豆知識

インリーダーとは・・・子ども会に入っている小学校5・6年生。

ジュニアリーダーとは・・・子ども会活動を始めた、地域の活動を支援する中学生・高校生のボランティア。

大人と子どものパイプ役にもなる。

シニアリーダーとは・・・主に大学生以上の年齢相当のリーダーで、地域活動への支援及びジュニアリーダーへの指導を行う。

指導者研修会 7月14日(日)

市子連では、7月と3月の年2回、子ども会育成者向けの研修会を実施しています。

7月の研修会では、「子ども会活動に役立つ3分間 KYT (危険・予知・トレーニング)」と「AED 講習会」を行い、58名の参加がありました。

第一部では市子連役員が講師となり、3分間 KYT について学びました。KYT とは、子ども会活動をする前に危険を自ら回避するための訓練です。研修会では、子ども会活動中のイラストを見ながらどのような危険があるのか参加者と意見を出し合いました。

第二部では、伊勢原市消防本部の職員を講師に迎え、AED 講習会を行いました。講習を受けることで、いざという時に怖がらずに AED を使用できます。そのため、AED 講習会を受講する機会を増やすことが大切だと思います。今後も市子連では、指導者に役立つ情報を的確に提供するべく、研修会を実施していきます。

(文：緑台地区 中村昌彦)



豆知識～KYTとは～

K→危険

Y→予知

T→トレーニング

のことです。

ふれあい工作ランド 8月24日(土)

市内にある7つの児童館と青少年指導員さん、市子連が子ども達に“作って遊ぶ”楽しさを伝えるために開催している夏休みイベントも今回で12回目になりました！本年度は工作コーナーの他に子ども科学館の職員によるサイエンスショーもあり、多くの子どもたちに“作って遊ぶ”を体験してもらいとても賑わいました。

市子連では、ジュニアリーダーの優しいお姉さんと一緒に『毛糸のストラップ』を楽しく作ってもらいました。色選びから仕上がりまで一生懸命に作り上げ、自分だけのオリジナルストラップが完成した時の満足そうな笑顔が素敵でした。

(文：竹園地区 関 久美)



市子連のあれこれ

七夕かざり 6月28日(金)～7月7日(日)

市子連では子ども会でつくった七夕かざりと短冊を募集し、青少年センターに飾っています。今年は飾りがあまり集まらず、ちょっぴり少なくなっていました。来年は皆さまの参加をお待ちしております。



折り鶴

折り鶴づくりは、子ども会行事になかなか参加できない方でも気軽に取り組める活動として始めました。市子連では千羽鶴をつくり、これまでに広島平和記念公園に27,000羽を奉納し、また「平和のつどい」でも千羽鶴を展示しています。行事の空いている時間に皆でつくる子ども会もあれば、家でつくった鶴を集める子ども会もあります。

折り鶴は随時青少年センターで受け付けています。ご協力いただける子ども会には折り紙を配布しますので、市子連事務局（青少年課）へお申し出ください。

子ども・若者育成支援強調月間イベント「youth age a go-go! Festival」

11月16日(土)・17日(日) 市民活動サポートセンター駐車場 午前10時～午後3時

市子連は17日に折り鶴コーナーで参加します。千羽鶴 みんなで折りにきてね！

子どもを愛する心のリレー

～創設時の心をつなげ～

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 会長 八島 満雄

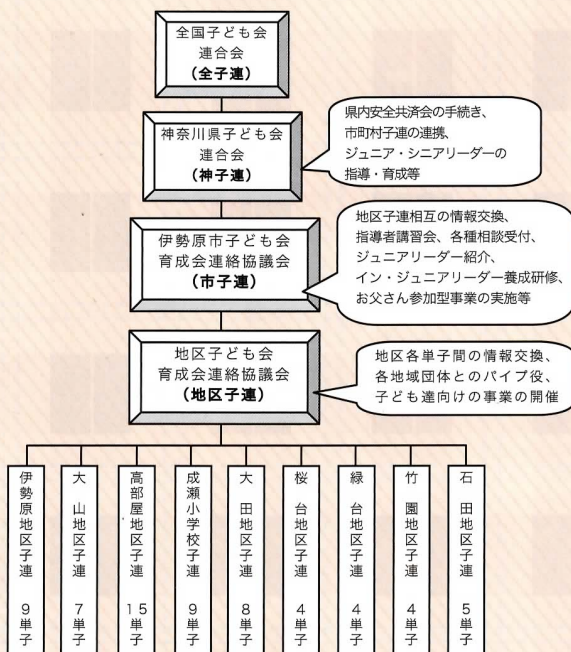


昭和20年、戦後荒廃し食もままならない状況から「子ども達の健全な成長を守ろう」という一念で子ども会は誕生しました。さらに当時は、家庭・社会・学校の三者が連携し、子どもは“地域の宝”として三者に見守られ育てることができました。

やがて、高度経済社会に入ると核家族単位での生活の増加により社会の仕組みが崩れ、本来の子ども会の影も薄くなっていきました。地域との関係が薄れ、自由に遊ぶ場を失った子ども達が安心安全に育つ場所はどこにあるのでしょうか。

今、子ども達は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定に夢を抱き、希望に胸を膨らませています。未来ある子ども達のために、「子どもたちの成長を守ろう」という子ども会創設時の思いに立ち戻り、その活動を見直す時期が来ているのではないのでしょうか。確かに、理想の子ども会をつくるには時間と苦労が伴います。しかし、子どものための子ども会を目指すことは、昔も今も変わらない大人たちが果たすべき役割かと考えます。

～子ども会組織図～



伊勢原市子ども会地区別加入率

(平成25年5月1日現在)

地区名	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
伊勢原	35.7%	30.3%	30.8%	27.0%	27.0%
大山	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
高部屋	68.0%	66.1%	55.9%	51.0%	44.4%
比々多	19.2%	20.7%	19.4%	20.6%	0.0%
成瀬	100.0%	100.0%	99.8%	100.0%	99.7%
大田	73.7%	72.8%	71.4%	67.1%	66.2%
桜台	38.8%	33.8%	28.8%	42.7%	35.8%
緑台	57.4%	55.3%	64.0%	62.7%	58.8%
竹園	28.5%	23.7%	26.6%	23.8%	24.5%
石田	53.2%	47.1%	43.0%	39.2%	37.0%

★各小学校の児童数に対する子ども会加入者数の割合を表しています。

★加入率には市子連に加入していない子ども会加入者は反映されていません。

あいさつ標語

あいさつは
みんなをつなぐあいことば
おはようは
朝一番のプレゼント



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

広報誌作成にあたり

日頃から皆さまのご協力により「子ども会いせはら」は発行できています。少しでも「子ども会って何？」と思う方に手にとっていただき、子ども会の現状や生の声を届け、今必要な地域とのつながりを大事にしていきたいという思いで作成いたしました。様々な行事を行うにあたり、地域の皆さまのお力添えが必要な時代へと変化してきています。

今後も子ども会活動の推進に努めてまいりますので、どうぞご協力をお願いします。

(広報部会 関久美・沼倉美香・越水真理)

子ども会への入会希望・ご質問・お問合せは、各単位子ども会・地区子ども会または市青少年課までお気軽にお問合せください。

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市青少年センター内 青少年課 ☎ 0463-94-7171